

令和2年度 第2四半期地域経済動向調査

(令和2年7月～9月 新温泉町商工会)

以下の調査報告内容の詳細については、各ホームページよりご確認ください。

①会員アンケート調査

会員アンケート調査（新温泉町商工会）

<https://www.sinonsen.com/>

②中小企業景況感

中小企業景況調査（全国商工会連合会）

http://www.shokokai.or.jp/?page_id=6633

③地域の雇用情勢

地域雇用情勢調査（豊岡公共職業安定所）

<https://www.hwiroha.com/area/Hyogo/Toyooka.html>

④業種別業況判断

但馬の経済指標（兵庫県但馬県民局）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/tjk04/keizai/index.html>

①会員アンケート調査

経営状況によるアンケート調査結果（1回目・2回目）

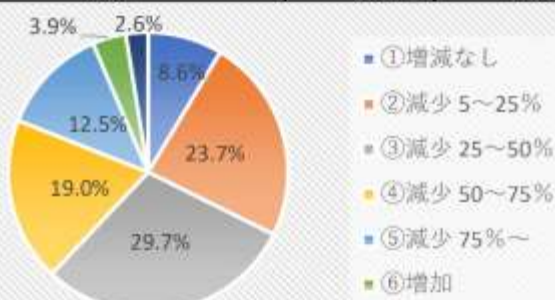
新温泉町商工会

1回目（7月1日調査）

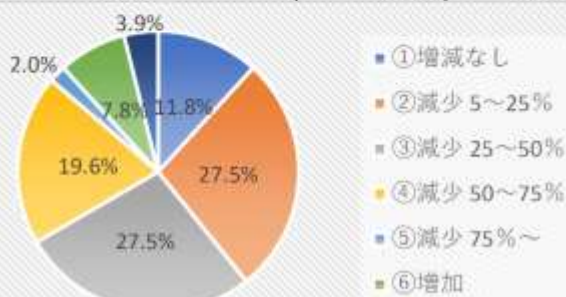
案内450件 回答232件 回答率51.5%

売上状況（対前年同月比）

全業種 4～6月	件数	構成比
①増減なし	20件	8.6%
②減少 5～25%	55件	23.7%
③減少 25～50%	69件	29.7%
④減少 50～75%	44件	19.0%
⑤減少 75%～	29件	12.5%
⑥増加	9件	3.9%
⑦未回答	6件	2.6%
総計	232件	100.0%



建設業 4～6月	件数	構成比
①増減なし	6件	11.8%
②減少 5～25%	14件	27.5%
③減少 25～50%	14件	27.5%
④減少 50～75%	10件	19.6%
⑤減少 75%～	1件	2.0%
⑥増加	4件	7.8%
⑦未回答	2件	3.9%
総計	51件	100.0%



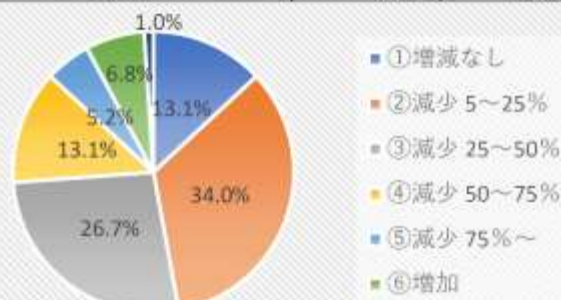
2回目（10月1日調査）

案内450件 回答191件 回答率42.4%

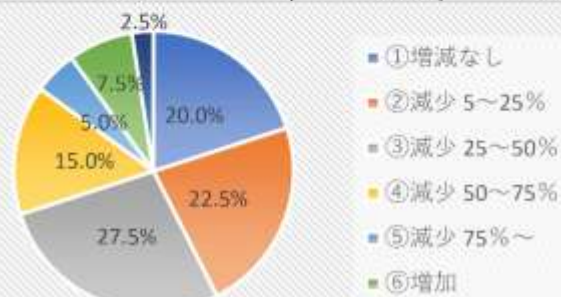
（内：QRでの回答36件）

売上状況（対前年同月比）

全業種 7～9月	件数	構成比
①増減なし	25件	13.1%
②減少 5～25%	65件	34.0%
③減少 25～50%	51件	26.7%
④減少 50～75%	25件	13.1%
⑤減少 75%～	10件	5.2%
⑥増加	13件	6.8%
⑦未回答	2件	1.0%
総計	191件	100.0%

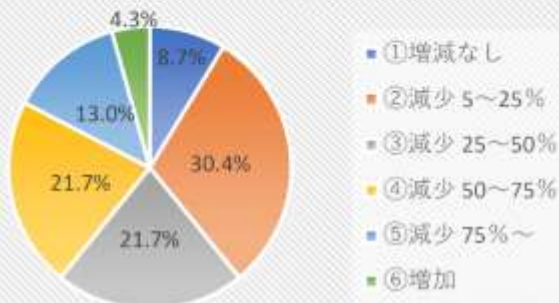


建設業 7～9月	件数	構成比
①増減なし	8件	20.0%
②減少 5～25%	9件	22.5%
③減少 25～50%	11件	27.5%
④減少 50～75%	6件	15.0%
⑤減少 75%～	2件	5.0%
⑥増加	3件	7.5%
⑦未回答	1件	2.5%
総計	40件	100.0%



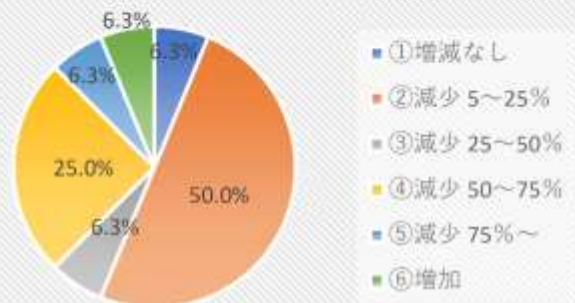
売上状況（対前年同月比）

製造業		
4～6月	件数	構成比
①増減なし	2件	8.7%
②減少 5～25%	7件	30.4%
③減少 25～50%	5件	21.7%
④減少 50～75%	5件	21.7%
⑤減少 75%～	3件	13.0%
⑥増加	1件	4.3%
総計	23件	100.0%



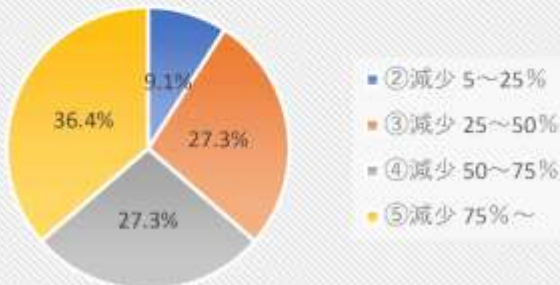
売上状況（対前年同月比）

製造業		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	1件	6.3%
②減少 5～25%	8件	50.0%
③減少 25～50%	1件	6.3%
④減少 50～75%	4件	25.0%
⑤減少 75%～	1件	6.3%
⑥増加	1件	6.3%
総計	16件	100.0%



卸売業

4～6月		
件数	構成比	
②減少 5～25%	1件	9.1%
③減少 25～50%	3件	27.3%
④減少 50～75%	3件	27.3%
⑤減少 75%～	4件	36.4%
総計	11件	100.0%



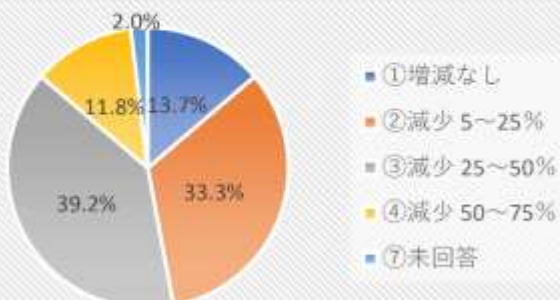
卸売業

7～9月		
件数	構成比	
②減少 5～25%	2件	40.0%
③減少 25～50%	2件	40.0%
⑤減少 75%～	1件	20.0%
総計	5件	100.0%



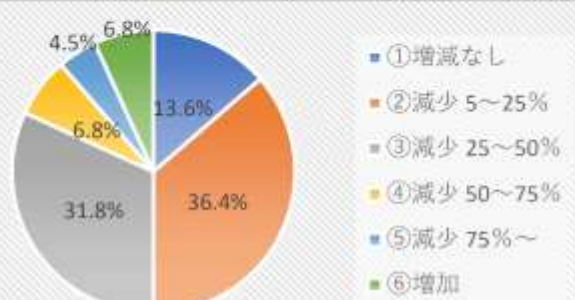
小売業

4～6月		
件数	構成比	
①増減なし	7件	13.7%
②減少 5～25%	17件	33.3%
③減少 25～50%	20件	39.2%
④減少 50～75%	6件	11.8%
⑦未回答	1件	2.0%
総計	51件	100.0%



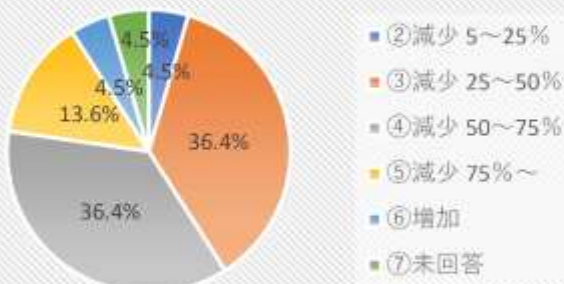
小売業

7～9月		
件数	構成比	
①増減なし	6件	13.6%
②減少 5～25%	16件	36.4%
③減少 25～50%	14件	31.8%
④減少 50～75%	3件	6.8%
⑤減少 75%～	2件	4.5%
⑥増加	3件	6.8%
総計	44件	100.0%



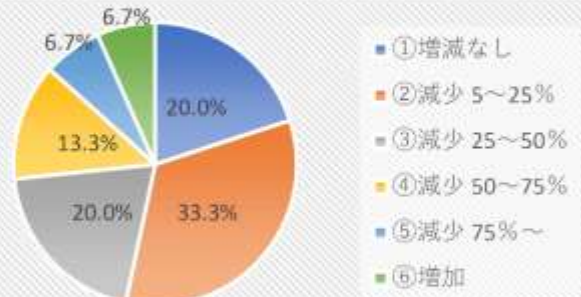
売上状況（対前年同月比）

飲食業 4～6月		
	件数	構成比
②減少 5～25%	1件	4.5%
③減少 25～50%	8件	36.4%
④減少 50～75%	8件	36.4%
⑤減少 75%～	3件	13.6%
⑥増加	1件	4.5%
⑦未回答	1件	4.5%
総計	22件	100.0%



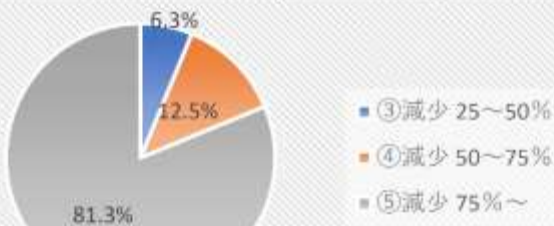
売上状況（対前年同月比）

飲食業 7～9月		
	件数	構成比
①増減なし	3件	20.0%
②減少 5～25%	5件	33.3%
③減少 25～50%	3件	20.0%
④減少 50～75%	2件	13.3%
⑤減少 75%～	1件	6.7%
⑥増加	1件	6.7%
総計	15件	100.0%



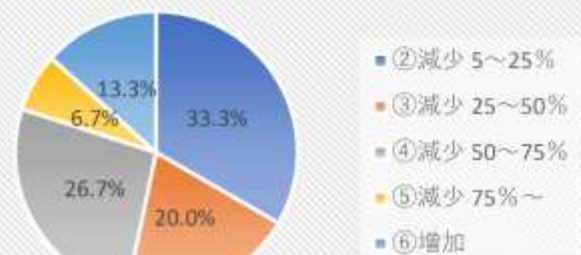
宿泊業

4～6月		
	件数	構成比
③減少 25～50%	1件	6.3%
④減少 50～75%	2件	12.5%
⑤減少 75%～	13件	81.3%
総計	16件	100.0%



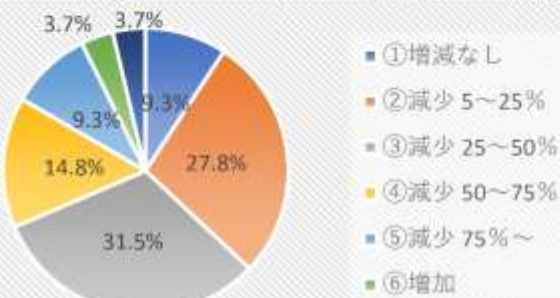
宿泊業

7～9月		
	件数	構成比
②減少 5～25%	5件	33.3%
③減少 25～50%	3件	20.0%
④減少 50～75%	4件	26.7%
⑤減少 75%～	1件	6.7%
⑥増加	2件	13.3%
総計	15件	100.0%



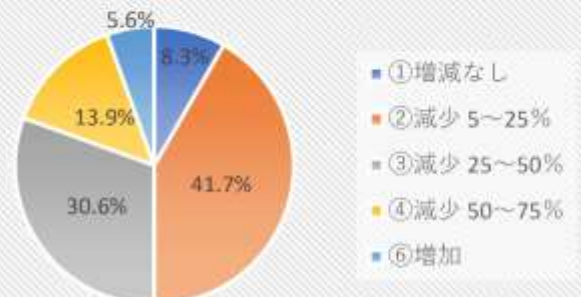
サービス業

4～6月		
	件数	構成比
①増減なし	5件	9.3%
②減少 5～25%	15件	27.8%
③減少 25～50%	17件	31.5%
④減少 50～75%	8件	14.8%
⑤減少 75%～	5件	9.3%
⑥増加	2件	3.7%
⑦未回答	2件	3.7%
総計	54件	100.0%



サービス業

7～9月		
	件数	構成比
①増減なし	3件	8.3%
②減少 5～25%	15件	41.7%
③減少 25～50%	11件	30.6%
④減少 50～75%	5件	13.9%
⑥増加	2件	5.6%
総計	36件	100.0%



売上状況（対前年同月比）

農業		
4～6月	件数	構成比
③減少 25～50%	1件	33.3%
④減少 50～75%	2件	66.7%
総計	3件	100.0%

未回答	1件
-----	----

総合計	232件
-----	------

売上状況（対前年同月比）

農業		
7～9月	件数	構成比
⑥増加	1件	100.0%
総計	1件	100.0%

その他		
7～9月	件数	構成比
①増減なし	4件	22.2%
②減少 5～25%	5件	27.8%
③減少 25～50%	5件	27.8%
④減少 50～75%	1件	5.6%
⑤減少 75%～	2件	11.1%
⑦未回答	1件	5.6%
総計	18件	100.0%

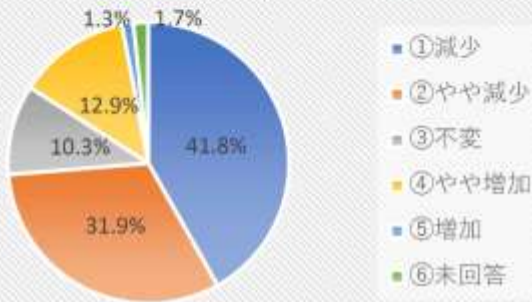
未回答		
7～9月	件数	構成比
③減少 25～50%	1件	100.0%
総計	1件	

総合計	191件
-----	------

1回目（7月1日調査）

今後の売上見込

全業種 7~9月	件数	構成比
①減少	97件	41.8%
②やや減少	74件	31.9%
③不変	24件	10.3%
④やや増加	30件	12.9%
⑤増加	3件	1.3%
⑥未回答	4件	1.7%
総計	232件	100.0%



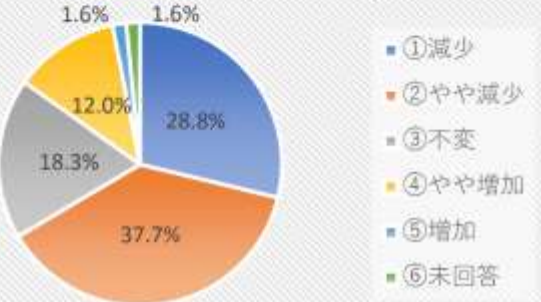
建設業 7~9月	件数	構成比
①減少	16件	31.4%
②やや減少	19件	37.3%
③不変	10件	19.6%
④やや増加	5件	9.8%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	2.0%
総計	51件	100.0%



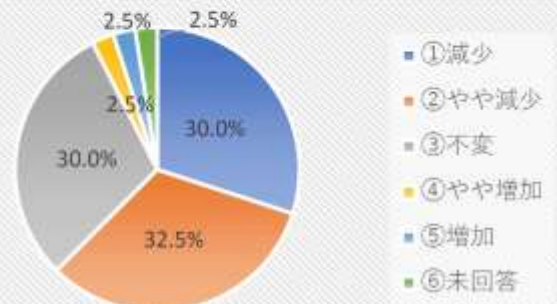
2回目（10月1日調査）

今後の売上見込

全業種 10~12月	件数	構成比
①減少	55件	28.8%
②やや減少	72件	37.7%
③不変	35件	18.3%
④やや増加	23件	12.0%
⑤増加	3件	1.6%
⑥未回答	3件	1.6%
総計	191件	100.0%

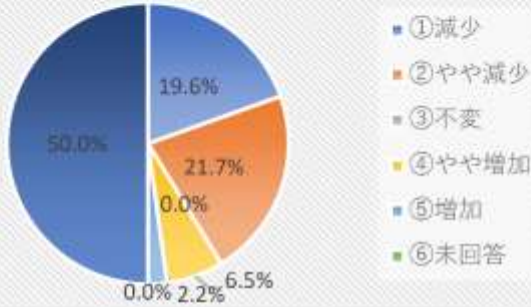


建設業 10~12月	件数	構成比
①減少	12件	30.0%
②やや減少	13件	32.5%
③不変	12件	30.0%
④やや増加	1件	2.5%
⑤増加	1件	2.5%
⑥未回答	1件	2.5%
総計	40件	100.0%



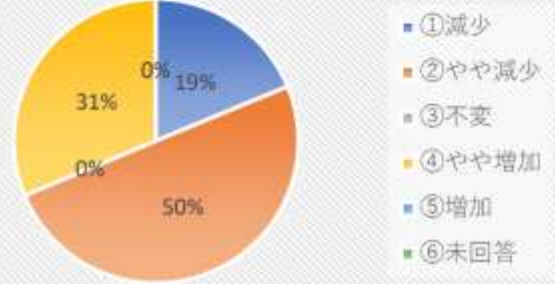
今後の売上見込

製造業		
7~9月	件数	構成比
①減少	9件	39.1%
②やや減少	10件	43.5%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	3件	13.0%
⑤増加	1件	4.3%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	23件	100.0%



今後の売上見込

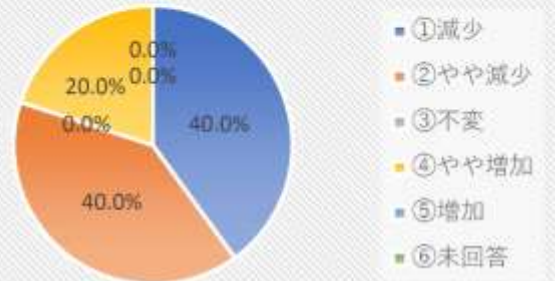
製造業		
10~12月	件数	構成比
①減少	3件	18.8%
②やや減少	8件	50.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	5件	31.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	16件	100.0%



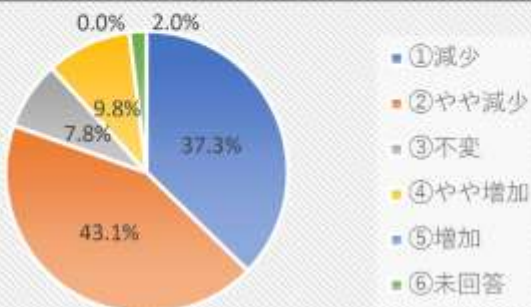
卸売業		
7~9月	件数	構成比
①減少	6件	54.5%
②やや減少	1件	9.1%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	4件	36.4%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	11件	100.0%



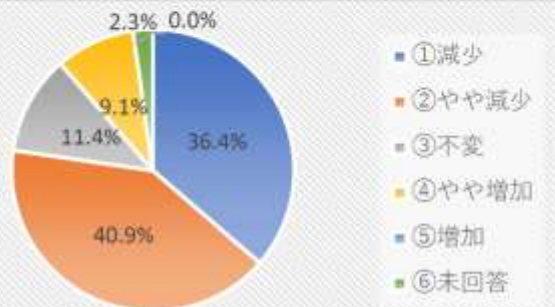
卸売業		
10~12月	件数	構成比
①減少	2件	40.0%
②やや減少	2件	40.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	1件	20.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	5件	100.0%



小売業		
7~9月	件数	構成比
①減少	19件	37.3%
②やや減少	22件	43.1%
③不変	4件	7.8%
④やや増加	5件	9.8%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	2.0%
総計	51件	100.0%

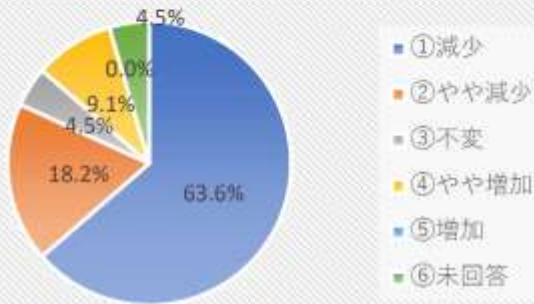


小売業		
10~12月	件数	構成比
①減少	16件	36.4%
②やや減少	18件	40.9%
③不変	5件	11.4%
④やや増加	4件	9.1%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	2.3%
総計	44件	100.0%

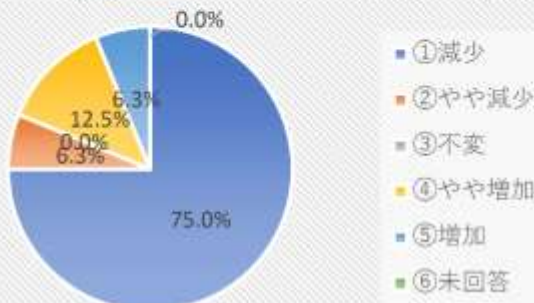


今後の売上見込

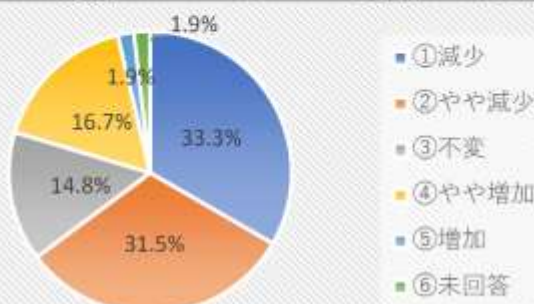
飲食業		
7~9月	件数	構成比
①減少	14件	63.6%
②やや減少	4件	18.2%
③不変	1件	4.5%
④やや増加	2件	9.1%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	4.5%
総計	22件	100.0%



宿泊業		
7~9月	件数	構成比
①減少	12件	75.0%
②やや減少	1件	6.3%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	2件	12.5%
⑤増加	1件	6.3%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	16件	100.0%



サービス業		
7~9月	件数	構成比
①減少	18件	33.3%
②やや減少	17件	31.5%
③不変	8件	14.8%
④やや増加	9件	16.7%
⑤増加	1件	1.9%
⑥未回答	1件	1.9%
総計	54件	100.0%

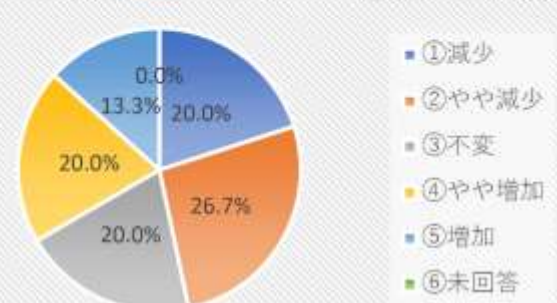


今後の売上見込

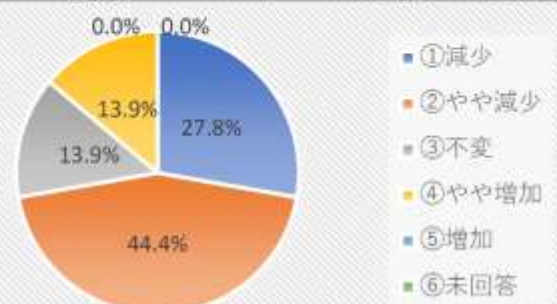
飲食業		
10~12月	件数	構成比
①減少	6件	40.0%
②やや減少	3件	20.0%
③不変	4件	26.7%
④やや増加	2件	13.3%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	15件	100.0%



宿泊業		
10~12月	件数	構成比
①減少	3件	20.0%
②やや減少	4件	26.7%
③不変	3件	20.0%
④やや増加	3件	20.0%
⑤増加	2件	13.3%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	15件	100.0%



サービス業		
10~12月	件数	構成比
①減少	10件	27.8%
②やや減少	16件	44.4%
③不変	5件	13.9%
④やや増加	5件	13.9%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	36件	100.0%



今後の売上見込

農業		
7~9月	件数	構成比
①減少	3件	100.0%
②やや減少	0件	0.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	0件	0.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	3件	

未回答	1件
-----	----

総合計	232件
-----	------

今後の売上見込

農業		
10~12月	件数	
①減少	0件	0.0%
②やや減少	0件	0.0%
③不変	0件	0.0%
④やや増加	1件	100.0%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	0件	0.0%
総計	1件	

その他		
10~12月	件数	構成比
①減少	3件	16.7%
②やや減少	7件	38.9%
③不変	6件	33.3%
④やや増加	1件	5.6%
⑤増加	0件	0.0%
⑥未回答	1件	5.6%
総計	18件	

未回答		
10~12月	件数	
②やや減少	1件	100.0%
総計	1件	

総合計	191件
-----	------

②中小企業景況感

製造業

輸出関連の一部で下げ止まらず、全般に改善幅は小さい

<主要3DIの動き>

- ・主要3DIの前年同期比をみると、そろって大幅に上昇した(戻した)。昨期、新型コロナウイルス感染拡大の影響下で未曾有の急落を経験した後の回復ではあるが、中小製造業にとっては、「若干の戻し」程度にとどまっている。他業種と比較して回復幅は小さい。
- ・売上額DIの内訳を見ると、「好転」が24ポイント増加、「悪化」は38ポイント減少した。「好転」の割合は約1割にとどまり、「悪化」は約4分の3に達している。
- ・来期見通しは今期と比べ若干のプラス方向ではあるものの、小幅であり動きは鈍い。
 売上額DI：-64.9(前期比+6.2ポイント)：大幅上昇
 採算DI：-58.5(前期比+5.1ポイント)：大幅上昇
 資金繰りDI：-38.5(前期比+12.7ポイント)：大幅上昇

<経営上の問題点：最大の問題としては指摘された要因>

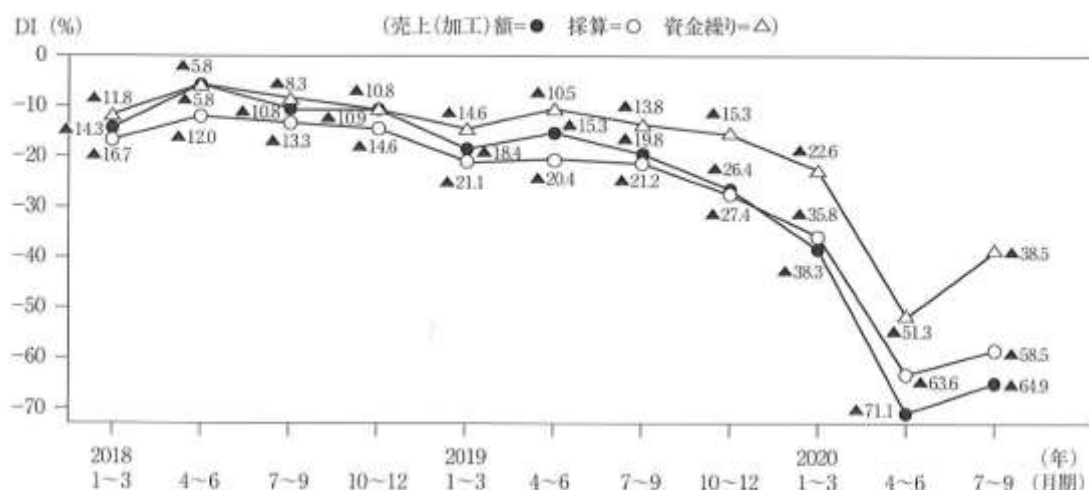
- 1位 需要の停滞(44.3%)
 - 2位 生産設備の不足・老朽化(9.0%)
 - 3位 製品ニーズの変化(7.4%) ()内は同要因を指摘する経営者の割合
- ・1位は「需要の停滞」で昨期から不変。昨期、「需要の停滞」を指摘する経営者の割合が大幅に増加、今期も微増。2位「生産設備の不足・老朽化」、3位「製品ニーズの変化」も昨期から小幅増加(指摘割合は1割未満で、顕著な要因ではない)。ただ、2位の生産設備要因、4位「従業員の確保難」(指摘割合5.3%)が昨期より微増となっていることは、一部で生産が最悪期を脱し、回復に向かっていると推測される。

<タイプ別にみた売上額DI>

- ・売上額DI(前期比)の業種別内訳をみると17業種中、11業種で前期から改善、6業種で悪化した。改善幅の大きかった業種は、化学工業(昨期から34.7ポイント改善)、衣服・その他繊維製品製造業(同26.6ポイント改善)、食料品製造業(同17.0ポイント改善)、プラスチック製品製造業、窯業・土石製品製造業等々となり、幅広い業種に及ぶ。一方、悪化幅の大きかった業種は、金属製品製造業(昨期から15.8ポイント悪化)、電気機械器具製造業(同7.1ポイント悪化)となった。輸送機械器具製造業、一般機械器具製造業も悪化しており、輸出関連産業の一部は下げ止まっていないと推測される。
- ・地域別では、8地域中、四国を除く7地域で改善した。北海道、近畿、東北は昨期と比べ2桁ポイント改善したが、水準は低い。人口規模別にみると、すべての地域で改善した。
- ・従業員規模別でみると、従業員50人以下の全ての規模で改善した半面、これ以上の規模では悪化がみられた。比較的大規模な中小製造業は下げ止まっていない模様だ。

1. 主要3項目の動き

(図2-1) 主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲32.8	6.2			▲27.8	5.1		
前年比	▲55.8	▲45.1			▲43.2	▲37.3		

建設業

回復の足取りは鈍いものの他業種と比べ高水準

<主要 3DI の動き>

- ・主要 3DI の前年同期比をみると、主要 3DI はそろって上昇した。完成工事額、採算は、昨期大幅悪化の後の小幅の「戻し」ととどまっている。一方、資金繰りは悪化幅の半分以上を回復した。水準は依然として低いものの他の 3 業種（製造業、小売業、サービス業）と比較すれば高い（マイナス幅が小さい）。
- ・来期は若干の悪化傾向を示しており、回復の足取りに懸念が残る。
- ・完成工事額 DI の内訳をみると、「好転」が 0.5 ポイント増加、「悪化」は 1.7 ポイント減少した。「好転」は 2 割に満たず、「悪化」は半数超、「不変」が約 3 分の 1 という構図。
完成工事（請負工事）額 DI：-33.6（前期比+2.2 ポイント）：上昇
採算（経常利益）DI：-29.0（前期比+4.1 ポイント）：上昇
資金繰り DI：-15.7（前期比+6.8 ポイント）：大幅上昇

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

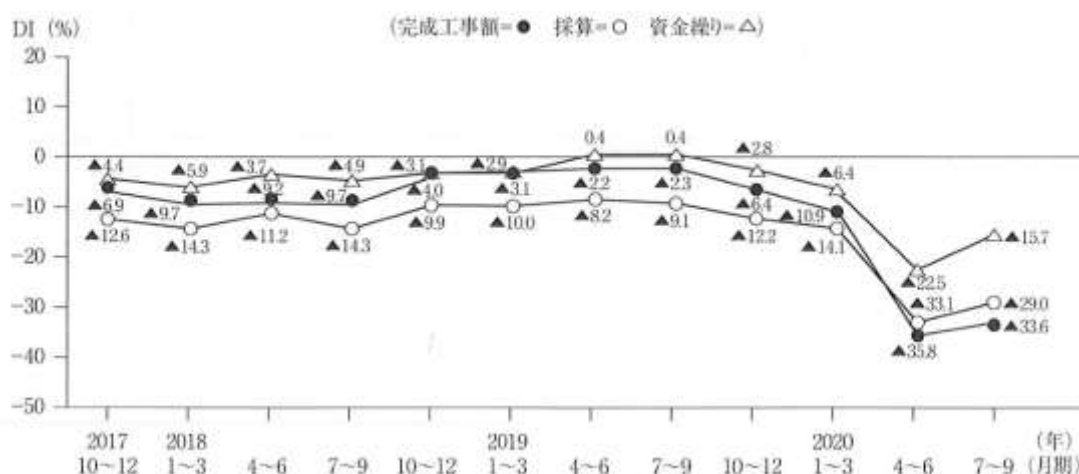
- 1位 民間需要の停滞（20.5%）
 - 2位 従業員の確保難（19.7%）
 - 3位 官公需要の停滞（11.1%）（ ）内は同要因を指摘する経営者の割合
- ・今期の 1～3 位の要因は昨期と同じ。1 位「民間需要の停滞」、3 位「官公需要の停滞」を指摘する経営者の割合は昨期から小幅に減少した。一方、2 位「従業員の確保難」の指摘割合は 3.8 ポイント増加している。完成工事額 DI の動きは鈍いものの、一部に建設需要回復の動きが広がっていると推測される。4 位「熟練技術者の確保難」（指摘割合 10.3%）も 3 ポイント以上増加している。人材確保難（2 位、4 位）が合わせて 3 割の状況。

<タイプ別にみた完成工事額 DI>

- ・建設業中の業種の内訳をみると、今期は総合工事業で小幅に悪化した半面、職別工事業で大幅改善、設備工事業も改善した。ただ、水準は依然として低く、特に設備工事業はマイナス 40 を下回る水準に低迷している。
- ・地域別にみると、8 地域中 5 地域で改善、3 地域で悪化し、全般にまだら模様と言える。2 桁ポイント改善した地域はないが、改善した 5 地域とも昨期からは大幅な改善となっている。悪化したのは、北海道、中国、四国で、特に北海道、中国では 2 桁ポイントの悪化となった。いずれの地域も水準は低いが、関東は他地域に比べて高水準にある（マイナス幅が小さい）。
- ・人口規模別にみると、まちまちの動きだが、水準はいずれの地域も大きな差がない。
- ・従業員規模別の動きをみると、従業員 21 人以上の業態で比較的大きな改善がみられ、従業員規模が大きいほど水準も高い傾向がある。

1. 主要 3 項目の動き

（図 3-1）主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲24.9	2.2			▲19.0	4.1		
前年比	▲33.6	▲31.3			▲24.9	▲19.9		

小売業

超低水準ながら広範な回復傾向がみられる

<主要 3DI の動き>

- ・主要 3DI は昨期からそろって大幅に改善した。いずれも水準は極めて低いものの、それでもサービス業、製造業よりも高く（マイナス幅が小さく）なっている。
- ・来期予想は売上額、採算で小幅改善、資金繰りが若干の悪化となっており、順調に回復する見通しとはなっていない。
- ・売上額 DI の内訳を見ると、「好転」が 20 ポイント増加、「悪化」は 8.0 ポイント減少した。「好転」の割合は 1 割強、「悪化」は 7 割強に達し、「不変」は 2 割弱という状況。
 売上額 DI：- 61.2（前期比 + 10.0 ポイント）：大幅上昇
 採算 DI：- 51.6（前期比 + 11.1 ポイント）：大幅上昇
 資金繰り DI：- 34.7（前期比 + 14.2 ポイント）：大幅上昇

<経営上の問題点：最大の問題として指摘された要因>

- 1 位 需要の停滞（28.6%）
 - 2 位 消費者ニーズの変化（13.3%）
 - 3 位 大型店・中型店の進出による競争の激化（10.5%）
- （ ）内は同要因を指摘する経営者の割合

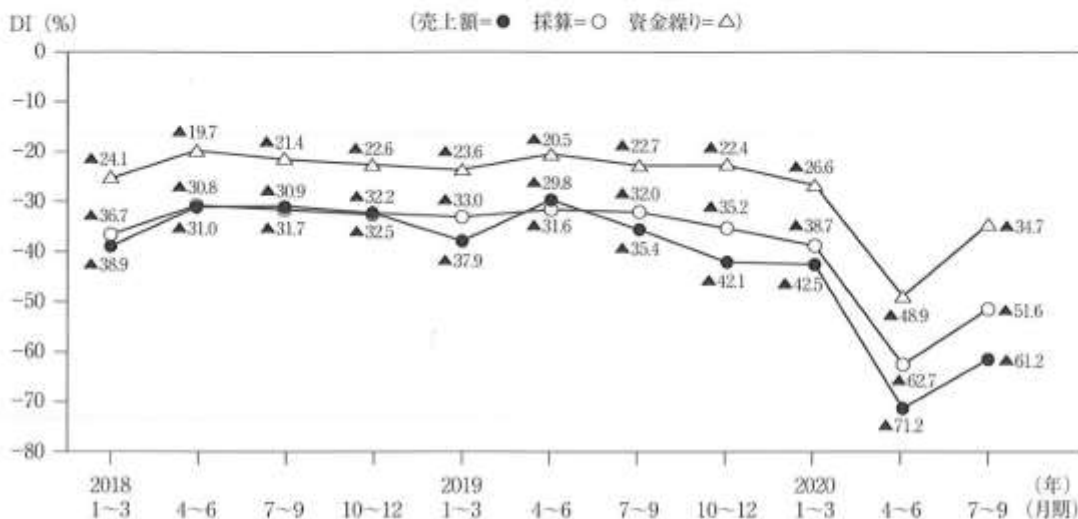
- ・今期の 1～3 位の順位は昨期から変わっていない。1 位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は小幅減少、2 位「消費者ニーズの変化」は 3.8 ポイント増加、3 位「大型店・中型店の進出による競争の激化」はほぼ横ばいとなった。4 位「購買力の他地域への流出」（指摘割合 10.0%）も昨期からほぼ横ばい。2～4 位のいわゆる中長期的な（構造的な）問題点は合わせて約 3 分の 1 に達している。

<タイプ別にみた売上額 DI >

- ・小売業の中で業種別の内訳をみると、6 業種すべてで昨期と比べ大幅な改善がみられた。中でも家具・建具・じゅう器小売業は 36.1 ポイントと改善幅が大きい。このほか、各種商品小売業、自動車・自転車小売業も 2 桁ポイントの改善となっている。ただ、最も水準の高い（マイナス幅の低い）家具・建具・じゅう器小売業でもマイナス 30 以下の水準にあり、全般に水準は極めて低い。
- ・地域別にみると、8 地域すべてで改善がみられた。九州、近畿、東北では 2 桁ポイントの改善となっている。水準はいずれの地域も極めて低く、地域による大きな違いはない。
- ・人口規模別にみても、いずれの地域も昨期から大幅に改善しているものの超低水準であり、地域間格差はみられない。
- ・従業員規模別には傾向的特徴がみられないものの、21 人以上の業態では（サンプル構成比は 1.8% に過ぎないが）最も水準が高い（マイナス幅が小さい）。

1. 主要 3 項目の動き

（図 4-1）主要景況項目の推移 —前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
前期比	▲28.7	10.0			▲24.0	11.1		
前年比	▲41.4	▲25.8			▲31.1	▲19.6		

サービス業

大幅改善するも、飲食店、宿泊業を中心に記録的な低水準に

<主要 3DI の動き>

- ・主要 3DI は昨期からそろって大幅に改善した。しかし、水準は極めて低く、売上額 DI は 4 業種中で最低となっている。
- ・来期予想も改善傾向ではあるものの、小幅にとどまっており、今後順調な回復は見込めそうにない。
- ・売上額 DI の内訳をみると、「好転」は 3.3 ポイント増加、「悪化」は 8.8 ポイント減少した。「好転」が 1 割未満、「悪化」は約 4 分の 3、「不変」は 2 割未満という状況。
 売上額 DI: -67.8 (前期比 +12.1 ポイント): 大幅上昇
 採算 DI: -59.0 (前期比 +13.0 ポイント): 大幅上昇
 資金繰り DI: -40.4 (前期比 +18.1 ポイント): 大幅上昇

<経営上の問題点: 最大の問題として指摘された要因>

- 1位 需要の停滞 (34.8%)
 - 2位 利用者ニーズの変化 (16.5%)
 - 3位 店舗施設の狭隘・老朽化 (7.4%)
- () 内は同要因を指摘する経営者の割合

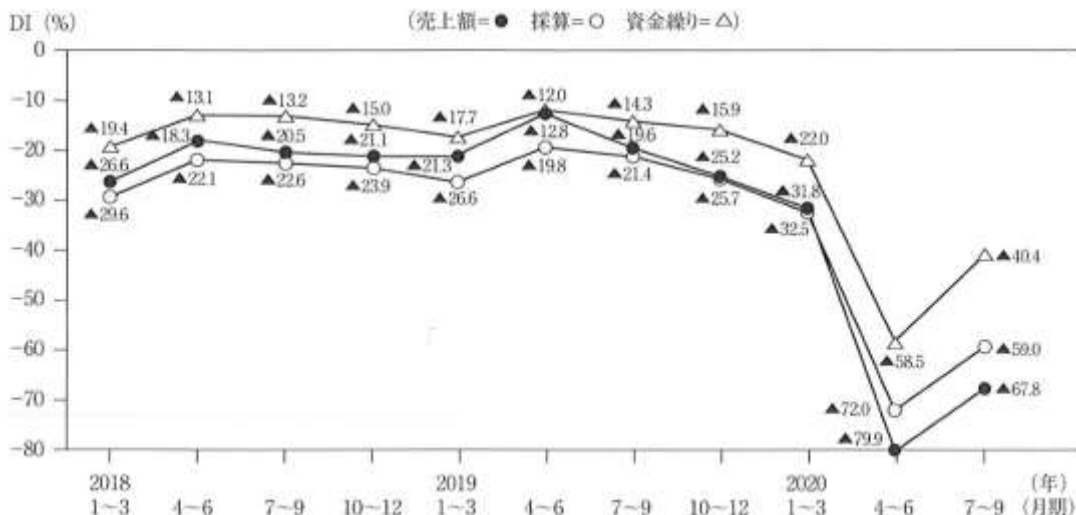
- ・今期の順位 1~3 位は昨期から変わっていない。1 位「需要の停滞」を指摘する経営者の割合は昨期からほぼ横ばい、2 位「利用者ニーズの変化」は 28 ポイント増加、3 位「店舗施設の狭隘・老朽化」も 1.1 ポイント増加した。需要要因が 1 年前と比べて 2 倍以上に増加しており、需要減退の厳しさがうかがえる。一方、3 位「店舗施設の狭隘・老朽化」や 4 位「従業員の確保難」(5.1%) といった供給要因の指摘が昨期よりも若干ながら増加していることは、一部に需要回復の兆しがみられることも推測できる。

<タイプ別にみた売上額 DI>

- ・サービス業の中で業種別の内訳をみると、6 業種すべてで昨期と比べ大幅な改善がみられた。特に、洗濯・理美容業、飲食店（一般・遊興）、自動車整備業は 2 桁ポイントの改善となっている。ただ、昨期は飲食店（一般・遊興）や宿泊業がマイナス 90 を下回ったことをはじめとして、記録的な落ち込みを経験した後の今期であり、水準はいずれの業種も極めて低い。
- ・地域別にみると、8 地域すべてで昨期から改善がみられた。四国を除く 7 地域で 2 桁ポイントの大幅改善となっている。ただ、水準はいずれの地域も極めて低く、地域による差は小さい。
- ・人口規模別でも、全地域で 2 桁ポイントの改善となったが、水準は低く地域差は小さい。
- ・従業員規模別の動きも同様で、すべての業態で水準が低く、業態間の差異は小さい。

1. 主要 3 項目の動き

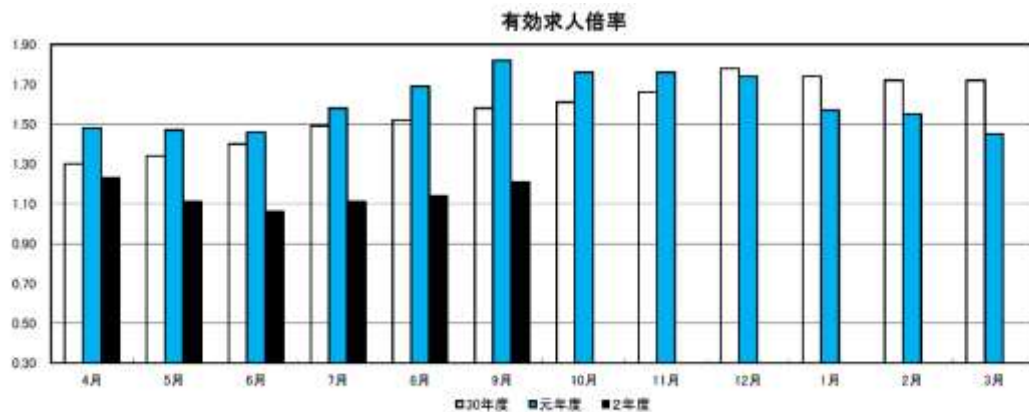
(図 5-1) 主要景況項目の推移 — 前年同期比—



項目	売上(DI)				経常利益(DI)			
	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月
前期比	▲48.1	12.1			▲39.5	13.0		
前年比	▲67.1	▲48.2			▲52.2	▲37.6		

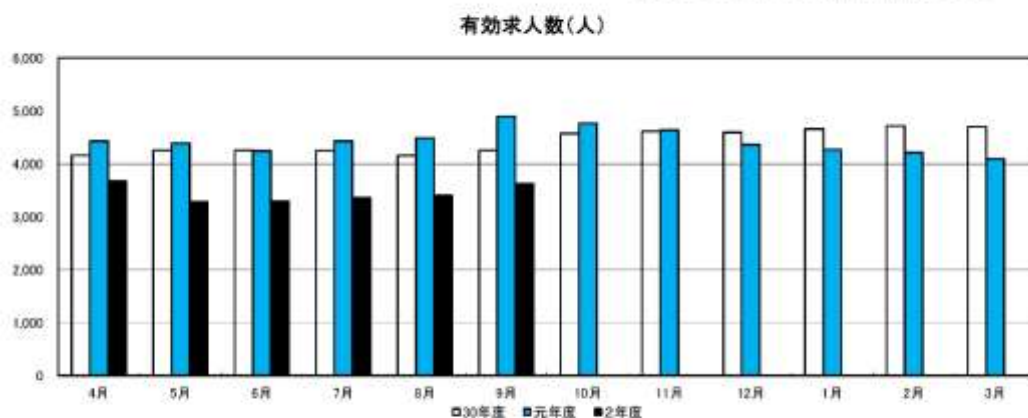
(以上、全国商工会連合会「中小企業景況調査 2020 年 7-9 月期」より抜粋)

③地域の雇用情勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	1.30	1.34	1.40	1.49	1.52	1.58	1.61	1.66	1.78	1.74	1.72	1.72	1.57
元年度	1.48	1.47	1.46	1.58	1.69	1.82	1.76	1.76	1.74	1.57	1.55	1.45	1.61
2年度	1.23	1.11	1.06	1.11	1.14	1.21							1.14
対前月(増減)	△0.22	△0.12	△0.05	+0.05	+0.03	+0.07							—
対前年(増減)	△0.25	△0.36	△0.40	△0.47	△0.55	△0.61							—

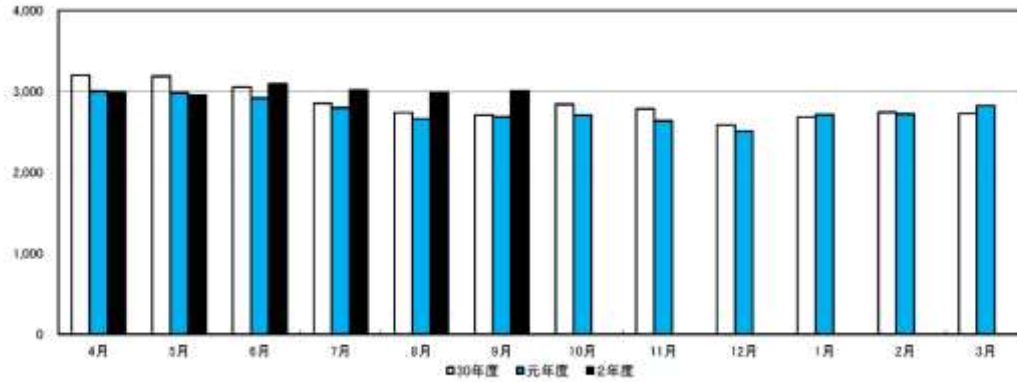
出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	4,163	4,259	4,261	4,253	4,158	4,263	4,572	4,614	4,595	4,660	4,716	4,700	4,435
元年度	4,426	4,388	4,244	4,429	4,490	4,896	4,763	4,636	4,362	4,271	4,213	4,096	4,435
2年度	3,679	3,287	3,292	3,357	3,401	3,626							3,440
前月比(%)	△10.18	△10.66	+0.15	+1.97	+1.31	+6.62							—
前年同月比(%)	△16.88	△25.09	△22.43	△24.20	△24.25	△25.94							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

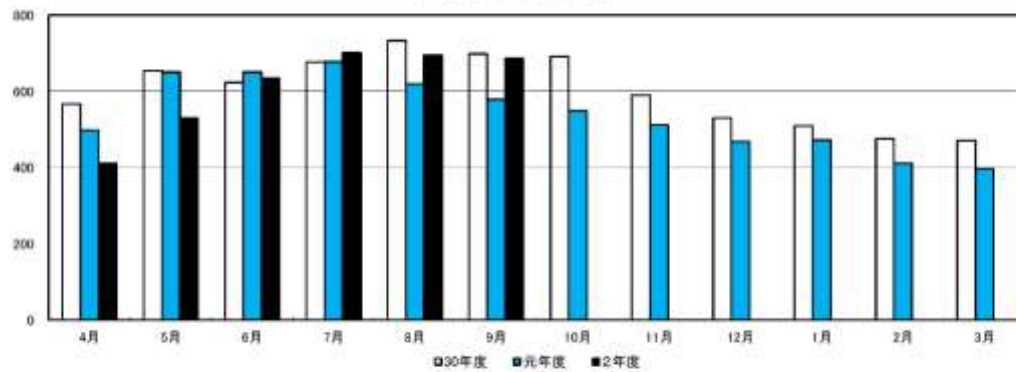
有効求職者数(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	3,202	3,186	3,051	2,852	2,739	2,705	2,842	2,785	2,586	2,680	2,743	2,727	2,842
元年度	3,000	2,983	2,916	2,795	2,663	2,686	2,709	2,638	2,511	2,713	2,722	2,821	2,763
2年度	2,997	2,957	3,095	3,012	2,984	3,004							3,008
前月比(%)	+6.13	△1.33	+1.67	△2.68	△0.93	+0.67							—
前年同月比(%)	△0.1	△0.87	+6.14	+7.76	+12.05	+11.81							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

雇用保険受給者実人員(人)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	567	654	623	677	733	698	691	590	530	509	476	471	602
元年度	499	651	651	678	620	579	549	512	469	472	412	398	541
2年度	412	529	634	701	695	687							610
前月比(%)	+3.52	+28.40	+19.85	+10.57	△0.86	△1.15							—
前年同月比(%)	△17.43	△18.74	△2.61	+3.39	+12.10	+18.65							—

出典:厚生労働省兵庫労働局『月報ひょうご』

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)

④業種別業況判断

主要業種の概況

宿泊業	<p>団体旅行・バス旅行の減少、インバウンドの大幅減少など、新型コロナウイルス感染症による多大な影響が出ている。</p> <p>団体客の利用が増えるまで、全部屋数の半分は食事専用部屋として用いることで、食事中に宿泊部屋の掃除や寝具の準備を済ませ、従業員と客が接触する機会を減らす対策を講じている。</p> <p>Go toキャンペーンにより、高額のプランを中心に予約が増えてきている。</p> <p>素泊まりプランやワーケーションの実施による新たな需要獲得をねらう。</p>
道路旅客 運送業	<p>2～7月にかけての貸切バスキャンセルが相次いだ。</p> <p>休校に伴う定期券の代金返却による損失もあり、定期券を回数券に移行して対応した。</p> <p>感染症対策として、定員を半分にして運行しており、利用客の多いシーズンにも、増便して対応する。</p> <p>今年から自動車整備部門に技能実習生2名を受け入れている。</p> <p>日帰りツアーや修学旅行等に貸切バスの利用需要があり、受注獲得に取り組む。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和2年7月)」より

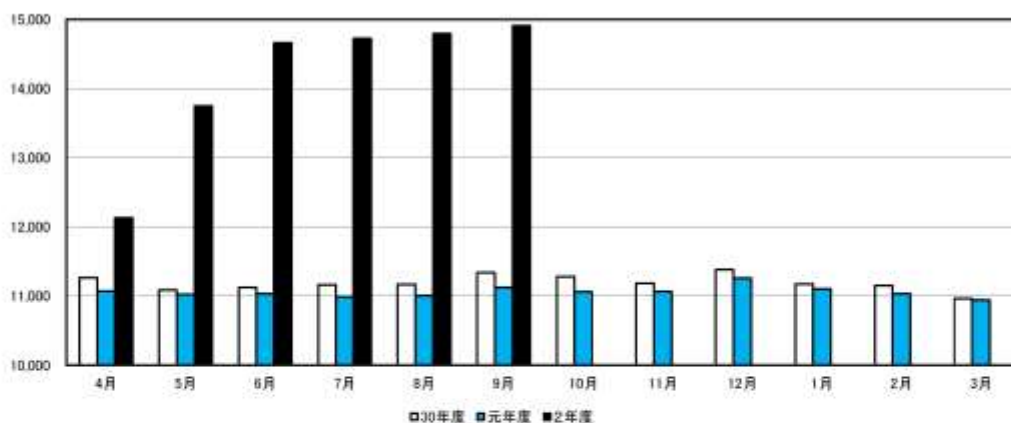
電気機械 器具製造業	<p>親企業の業績悪化に伴い製品の受注が落ちこんでいるため、景況感は悪い。</p> <p>生産工程の見直しによる生産コスト削減や、技術力を生かした単価の高い製品の開発に取り組むことで経営状態の改善を図っていく。</p> <p>雇用人員についてはやや過剰であると感じているが、社員の高齢化が懸念されるため、高卒採用を中心とした採用活動に積極的に取り組んでいる。</p>
印刷・ 同関連業	<p>新型コロナウイルス感染症により広告物の受注が落ちこんでいるため、景況感は悪い。</p> <p>4～6月は広告物の受注が大きく落ち込み、7月には一時回復したが8月に入り再び落ち込んだ。</p> <p>雇用人員についてはやや過剰と感じているが、仕事量に波があることから人員を減らすことが難しい。</p> <p>広告物の受注回復の先が見えないことを懸念して、紙を使った製品の開発・販売を検討している。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和2年8月)」より

金属製品 製造業	<p>4～5月は全製品の売上が減少したが、6月からは回復に転じており、9月現在では主力製品において新型コロナウイルス感染症の影響はほとんどなくなるなど景況感は良い。</p> <p>雇用人員は現状適正であるが、今後増産が見込まれることや技術開発を続けていくことに対して人材不足を感じている。</p> <p>働き方改革の新しい取組として、非正規職員への退職金を検討している。</p>
銀行業	<p>融資申し込みが新型コロナウイルス感染症における制度融資を中心に増加しており、6～7月は前年同期比で2倍ほどの融資に至った。</p> <p>対象融資先は資金繰りが逼迫している企業もあるが、今後の状況を鑑み、運転資金の確保を行った企業が多い。</p> <p>雇用人員に関しては、現状適正であるが、今後の定年を含めた減少に対し、新しい人材の確保が難しくなってきたことを懸念している。</p>

「兵庫県の経済・雇用情勢(令和2年9月)」より

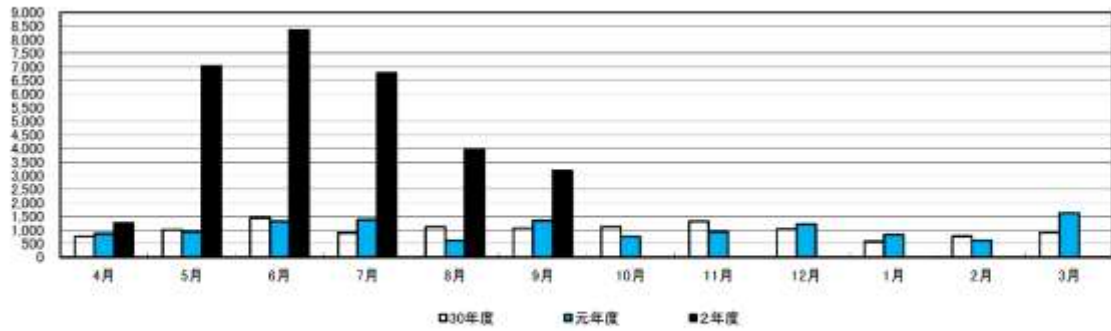
普通貸付残高(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	11,266	11,086	11,125	11,161	11,170	11,335	11,280	11,181	11,381	11,173	11,150	10,966	11,190
元年度	11,073	11,024	11,031	10,992	11,008	11,122	11,062	11,066	11,258	11,105	11,034	10,938	11,059
2年度	12,130	13,749	14,657	14,720	14,793	14,907							14,159
前月比 (%)	+10.90	+13.35	+6.60	+0.43	+0.50	+0.77							—
前年同期比 (%)	+9.55	+24.72	+32.87	+33.92	+34.38	+34.03							—

日本政策金融公庫豊岡支店 集計

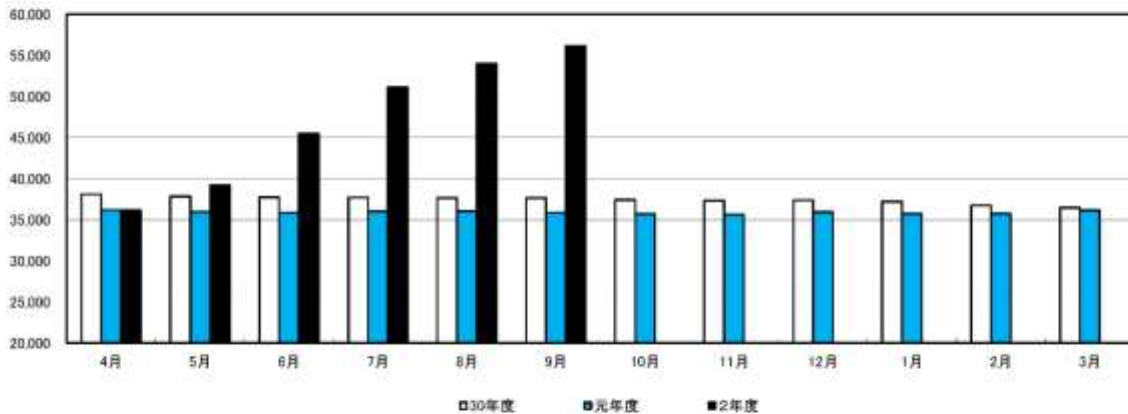
信用保証承諾額(百万円)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	759	1,002	1,444	891	1,106	1,065	1,115	1,313	1,025	575	772	904	998
元年度	865	934	1,319	1,368	615	1,348	759	925	1,209	817	624	1,627	1,034
2年度	1,257	7,020	8,344	6,779	3,971	3,178							5,092
前月比 (%)	△22.74	+458.47	+18.86	△18.76	△41.42	△19.97							—
前年同月比 (%)	+45.32	+651.61	+532.6	+395.54	+545.69	+135.76							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

信用保証債務残高(百万円)

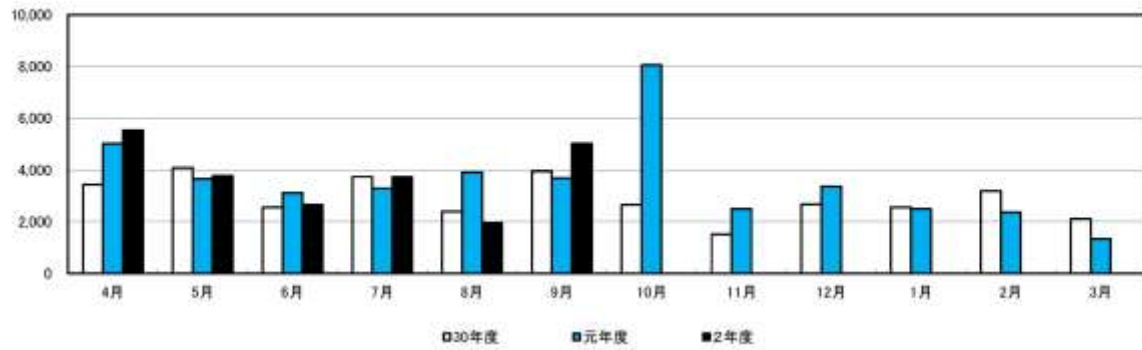


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	38,089	37,808	37,731	37,684	37,645	37,639	37,402	37,326	37,373	37,219	36,711	36,447	37,423
元年度	36,183	35,966	35,869	36,013	36,064	35,856	35,678	35,635	35,926	35,721	35,735	36,121	35,897
2年度	36,127	39,209	45,460	51,094	53,953	56,166							47,002
前月比 (%)	+0.02	+8.53	+15.94	+12.39	+5.6	+4.1							—
前年同月比 (%)	△0.15	+9.02	+26.74	+41.88	+49.6	+56.64							—

出典:兵庫県信用保証協会『信用保証月報』

公共工事

公共工事請負金額(百万円)

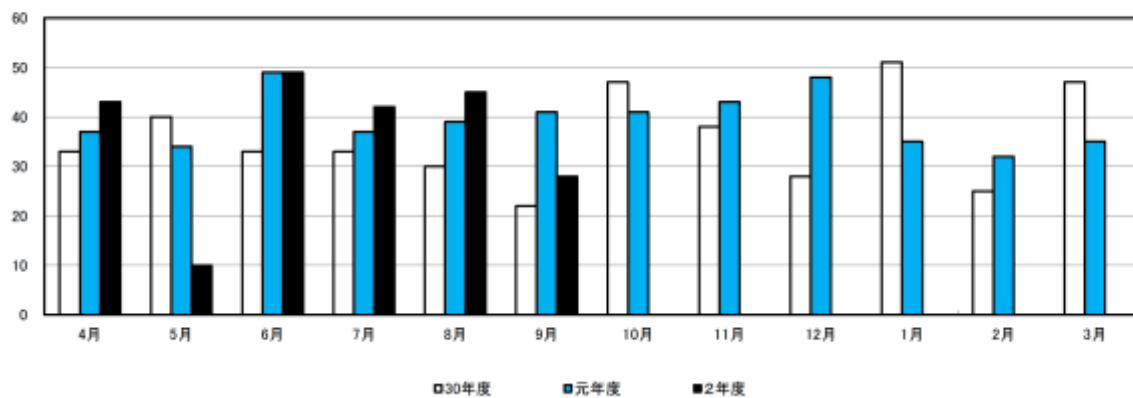


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
30年度	3,422	4,080	2,548	3,729	2,397	3,955	2,657	1,516	2,679	2,551	3,189	2,107	2,903
元年度	5,010	3,657	3,104	3,296	3,898	3,678	8,053	2,491	3,358	2,487	2,357	1,334	3,560
2年度	5,542	3,771	2,661	3,727	1,957	5,007							3,778
前月比(%)	315.44	△ 31.96	△ 29.44	40.06	△ 47.49	155.85							—
前年同月比(%)	10.62	3.12	△ 14.27	13.08	△ 49.79	36.13							—

西日本建設業保証株式会社兵庫支店 集計

企業倒産

企業倒産件数(件)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	33	40	33	33	30	22	47	38	28	51	25	47	427
元年度	37	34	49	37	39	41	41	43	48	35	32	35	471
2年度	43	10	49	42	45	28							217

出典:株式会社東京商工リサーチ神戸支社

(以上、兵庫県但馬県民局「但馬の経済指標」より抜粋)